

⑮ Int. Cl.
B 62 D 1/18

識別記号

庁内整理番号
2123—3D

⑯ 公開 昭和56年(1981)4月8日

審査請求 未請求

P2000-54171 の 2 頁 目録 (全 2 頁)

⑰ ステアリングシャフト

⑱ 考案者 堀尾典男

湖西市鷺津2028富士機工株式会
社鷺津工場内

⑲ 実 願 昭54—119694

⑳ 出 願 昭54(1979)8月29日

㉑ 考案者 新井清

湖西市鷺津2028富士機工株式会
社鷺津工場内

㉒ 出 願 人 富士機工株式会社

東京都中央区日本橋本町3丁目
9番地5

㉓ 代 理 人 弁理士 志賀富士弥

㉔ 実用新案登録請求の範囲

(1) アウターシャフトと、このアウターシャフトとセレーションによつて軸方向にのみ相対移動自在に嵌合されたインナーシャフトとからなるステアリングシャフトにおいて、前記アウターシャフトに衝突時前記インナーシャフトと当接して該インナーシャフトの収縮エネルギーを吸収する凸部をすくなくとも1個以上形成したことを特徴とするステアリングシャフト。

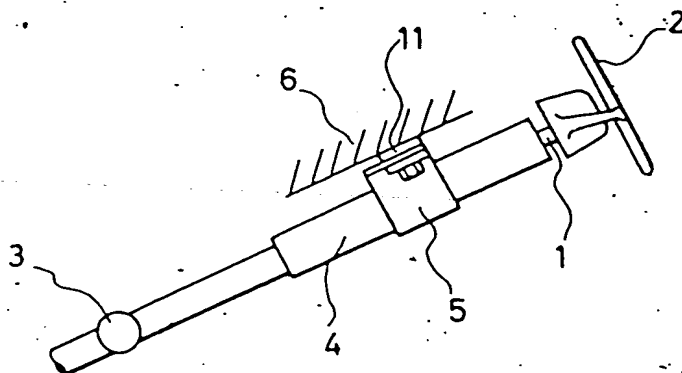
(2) アウターシャフトに形成された凸部はインナーシャフトの端部よりも所定距離離間されて設けられていることを特徴とする実用新案登録請

求の範囲第1項記載のステアリングシャフト。
図面の簡単な説明

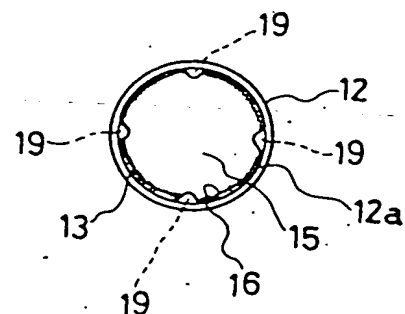
第1図は従来のエネルギー吸収ステアリング装置の説明図、第2図はジャケットの要部断面図、第3図は本考案の一実施例を示す要部断面図、第4図は第3図の左側面図である。

1A……ステアリングシャフト、1.2……アウターシャフト、1.2a……小径部、1.3……セレーション、1.4……貫通孔、1.5……インナーシャフト、1.6……セレーション、1.7……環状溝、1.8……樹脂モールド、S……所定距離、1.9……凸部。

第1図

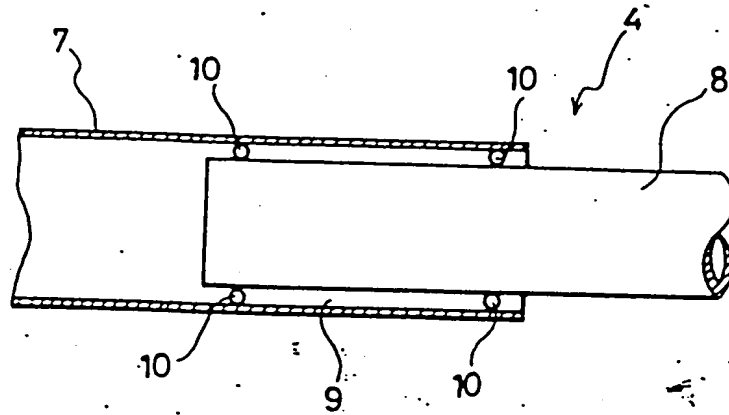


第4図

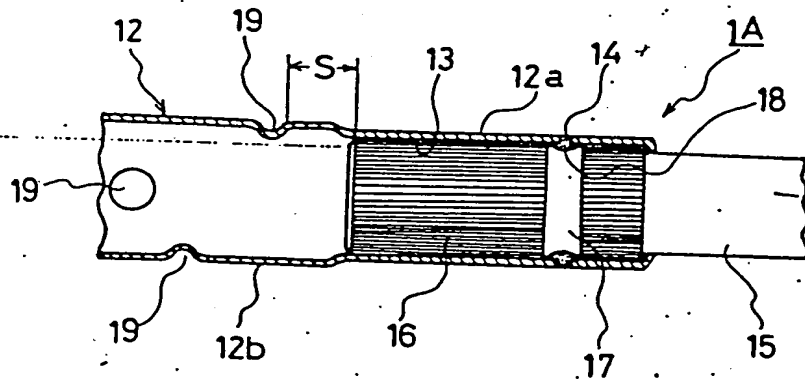


BEST AVAILABLE COPY

第2図



第3図



BEST AVAILABLE COPY